

シロイチモジヨトウ用交信かく乱剤

ヨトウコン[®]S

(ビートアーミルア剤)

- 性フェロモンで対象害虫の交尾を阻害することで発生を抑制
- 薬剤抵抗性を獲得した対象害虫にも有効
- 有機JASに使用できます



シロイチモジヨトウ(成虫)



シロイチモジヨトウ(幼虫)

ヨトウコン[®]は信越化学工業株式会社の登録商標です

交信かく乱用性フェロモン剤の詳しい説明はWEBで



交信かく乱用性フェロモン剤

ヨトウコン-S

有効成分：(Z,E)-9,12-テトラデカジエニル=アセテート……………53.7%
(Z)-9-テトラデセン-1-オール……………26.7%
安定剤等……………19.6%

安全性
人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）
魚毒性：この登録に係る使用方法では該当がない
包装形態：20cm 100本 袋、50袋/箱
100m巻 1巻/袋、10袋/箱

特長

- 1 性フェロモン剤の有効成分は微生物等により容易に分解されるため、環境にやさしい防除剤です。
- 2 性フェロモン剤は、殺虫剤と比べても一般的に抵抗性がつきにくいとされています。
- 3 作物への残留も心配なく、輸出用作物にも使用できます。

ヨトウコン-Sの登録内容

| 作物名 | 適用場所 | 使用目的 | 適用病害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 |
|-------------------|--------------------|------|-----------|-----|-------------------|-----------------|
| シロイチモジヨトウが加害する農作物 | シロイチモジヨトウの加害作物栽培地帯 | 交尾阻害 | シロイチモジヨトウ | 露地 | シロイチモジヨトウの発生初期～終期 | 作物上に支柱等を用いて固定する |
| | | | | ハウス | | |

上手な使い方

1 露地での使用量

| 圃場面積 | 使用量 |
|-------|----------------|
| 5ha以上 | 100～150本 / 10a |
| 1～5ha | 150～200本 / 10a |

注意：上記の数量は、基準量です。風向き、地形等の条件を考慮し、適用範囲内で追加処理を行ってください。

① 大面積で使用する場合

対象作物の圃場面積が5haを上回る大規模処理の場合、10aあたり100～150本とし圃場全体に処理してください。

② 小面積で使用する場合

1～5haの圃場に処理する場合は、10aあたり150～200本とし圃場全体に処理してください。また、圃場内周辺に追加処理を行ってください。

2 露地での使用方法

- ネギ、ホウレンソウなど、ディスペンサーを取付けない場合は、支柱を立てそこにディスペンサーを取付けてください。
- キヌサヤエンドウ、ナガイモなど支柱や棚、ネット等がある畑では、そこにディスペンサーを取付けてください。
- 取付け位置：作物の生育の支障とならないように取付けてください。

1 施設での使用量

① 小型ハウスの場合

（標準使用量700本/10a又は140m/10a）
ハウス内周辺に多めに、中央は少なめにし、設置間隔は均等に設置してください。

② 大型ハウスの場合

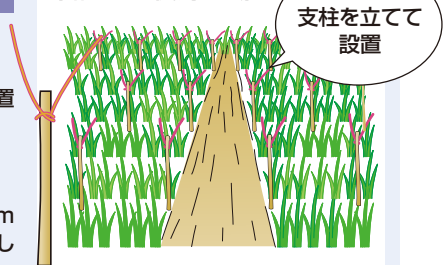
（100m/10a）
ハウスの間口約10mにつき1本の割合で100mディスペンサーをハウスの端から端まで張り渡してください。また、適当な長さで100mディスペンサーを切断し、小型ハウスと同様に設置することも可能です。

注意：100mディスペンサーを切断する場合、必ず20cm間隔でヒートシートされている部分を切断してください。

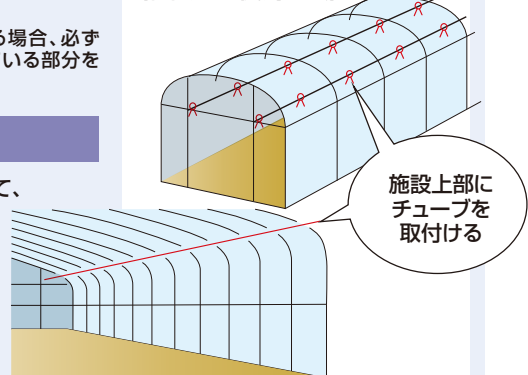
2 施設での使用方法

- ハウス内のパイプや鉄線などを利用して、ディスペンサーを取付けてください。
- 露地の場合と同様に支柱を立てて設置することも可能です。

〈露地での使用方法〉



〈施設での使用方法〉



使用上の注意事項

- 本剤はシロイチモジヨトウ成虫の交尾を連続的に阻害して交尾率を低下させることによる密度低下を目的としていますので、シロイチモジヨトウの発生初期から収穫期まで連続的に、広範囲な地域で使用する事が望ましいです。
- 対象害虫が高密度に存在する場合には状況に応じて天敵に影響の少ない殺虫剤を併用することが望ましいです。
- 本剤の露地での使用量は10アール当り100～150本を標準としますが害虫発生量の多い場合、傾斜地で使用する場合等では効果が劣ることがありますので、

このような場合は所定の範囲内の多めの量で使用してください。

- ハウス栽培で換気をおこなっている場合は所定の範囲内の多めの量で使用してください。
- 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると有効成分が揮散しますので、必ず使用前に開封し、使い切ってください。
- 本剤は設置後2～3ヵ月たつと効果が低下してきますので3ヵ月後には新しいものと交換してください。
- 設置の際、面積に応じてポリエチレンチューブを切断する場合は、必ず20cm間隔でヒートシールされている部分を切断してください。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意事項

- 危険物第四類第三石油類に属するので火気には十分注意してください。

貯蔵上の注意事項

- 火気をさけ、直射日光が当たらない冷暗所（5℃以下）に密封して保管してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2021年9月現在の知見に基づいて作成されています。